

実績報告書作成に係る文筆要領

(下記文献リストは 2021.4 改訂版 日本赤十字看護大学大学院学位論文執筆要領より抜粋)

X I . 文献リストの記載方法

- A. 文献リストは、筆頭著者の姓のアルファベット順に記載し、著者全員の姓名を表示する。外国人の場合も、姓（ファミリーネーム）を先に、名（ファーストネーム）のイニシャルのみを後に記載する。
- B. 同一著者の文献が複数ある場合には、発行年の早い順に並べる。同一著者による文献が同一年次に複数ある場合には、本文中の（ ）内に記載された発行年に付した小文字のアルファベット順に並べる。
- C. 外国語文献で、著者が二人以上の場合、最後の著者名の前に , & をはさむ。また、名（ファーストネーム）のイニシャルの記載は次の表記を採用すること：

<記載例> □ Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989).

↑

半角. と半角, の後に半角スペースを入れる

- D. 記載内容が 2 行以上にまたがる場合は、2 行目以降は行頭を 13mm (0.5 インチ) 程度下げる。
- E. 文献の記載方法は、雑誌掲載論文、書籍（原書）、書籍（翻訳版）の種類によって異なる。それぞれの項目の後に付ける句読点の種類が分かるように特に記載したので、注意して参照のこと。なお、() は、該当する数字をカッコで括って表示することを示す。

1. 雑誌掲載論文

著者名 (発行年). 論文の表題. 雑誌名, 巻, もしくは巻(号), 最初-最後のページ数.

ページの pp. は記載しない。雑誌名は原則として正式名称を用い、和文、英文とも雑誌名は斜字体 (イタリック) で記す。また、巻(号), のカッコの使用は次の表記を採用すること：

<記載例> □ . . . 家族療法研究, 1(1), 28-37.

↑

半角 () の前後にスペースは入れない

石川元・大原健志郎 (1984). 家族療法と非言語. 家族療法研究, 1(1), 28-37.

丸田すみ子 (1988). 中部山岳地帯における植生と環境変化に関する研究. 社会生物学研究, 12(3), 45-56.

岡崎寿美子 (1990). 痛み表現用語に関する研究. 健康心理学研究, 3(1), 1-17.

Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. *Journal of the American Geriatric Society*, 33, 833-841.

オンライン学術論文の記載方法は DOI（デジタルオブジェクト識別子）の有無で異なる。

DOIのある論文の場合、DOIを最後に記載する。

著者名（発行年）・・・頁番号. doi:識別番号

DOIのない論文の場合、論文閲覧サイトの URL を最後に記載する。

著者名（発行年）・・・頁番号. http://（URL）

<記載例>

吉行紀子・河野あゆみ・曾我智子・金谷志子・堀田邦子（2016）. 要支援高齢者における介護保険サービスの利用パターンと虚弱性との関連性. 日本公衆衛生学雑誌, 63(3), 135-142.

http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3_135.pdf

2. 書籍（原書）

著者名（発行年）. 本の表題. 発行所.

表題は、日本語文献も外国語文献も斜字体（イタリック）を用いる。

<記載例>

American Psychological Association. (2001). *Publication manual of the American Psychological Association (5th ed.)*. Author.

Corsini, R. J., & Cardone, S. (1966). *Role playing in psychotherapy*. Aldine.

岡崎寿美子（1992）. *人は痛みをどのように表現するか*. 草原社.

編集された書籍のなかに収録された論文の場合、以下のように記載する。

論文著者名（発行年）. 論文表題. 編者名, 書籍の表題所収. (pp. 最初-最後のページ数). 発行所.

外国語文献の場合で、編集された書籍のなかの章などを引用する場合は、編者名は名（ファーストネーム）のイニシャルを先にし、姓（ファミリーネーム）のあとに(Ed.). を付す。編者複数の場合には(Eds.). を付す。

<記載例>

Charmaz, K. (1983). The grounded theory method: An explanation and interpretation. In R. M. Emerson (Ed.), *Contemporary field research: A collection of readings* (pp. 109-126). Little, Brown.

Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. In T. Moore, & E. Simendinger (Eds.). *Managing the nursing shortage : A guide to recruitment and retention* (pp. 1-2). Rockville, MD: Aspen.

吉井恭子・大木陽子・木村洋二・高田隆一郎（1983）. 精神医療におけるインフォームド・コンセント. 田中信子編, *人権の思想所収* (pp. 123-234). 現代出版.

吉田敬子（1984a）.

吉田敬子（1984b）.

電子版の記載方法は DOI（デジタルオブジェクト識別子）の有無で異なる。

DOIのある書籍の場合、DOIを最後に記載する。

著者名 (発行年)・・・発行所. doi:識別番号

DOIのない書籍の場合、発行所のURLを最後に記載する。

著者名 (発行年)・・・発行所. http:// (URL)

3. 書籍 (訳本)

著者名 (原綴りのまま). (原書の発行年)/訳者名訳 (訳本の発行年). 邦題. 発行所. を日本語で記す。

<記載例>

Collins, R. (1982)/井上俊・磯部卓三訳 (1992). *脱常識の社会学*. 岩波書店.

4. 電子資料 (インターネット情報)

インターネット上の資料を使用し、引用する場合、読者が確実に引用された情報に辿りつけるよう、最低限、文書タイトル (見出し) もしくは説明、発行、更新の日付、閲覧の日付、情報に直接リンクする uniform resource locator [URL] (例: <http://www. . . />) を記載する。更新の日付が不明の場合は、n.d.(no date)とする。可能ならば、著者名も記す。

<記載例>

石川准 (2005/1/20). ケアとアシスト. <http://fuji.u-shizuoka-ken.ac.jp/~ishikawa/care%20and%20assist.pdf> [2005/5/18 閲覧]

インターネット情報 (Wikipedia などを含む) は真偽の不明な情報も多く、確実な情報かどうかをじっくりと確かめた上で慎重に用いること。そのままコピーすることは絶対に避けること。また、その文献が紙媒体で手に入る場合は、それを文献とし、電子資料はインターネットでしか手に入らない文献に限定すること。

文 献

American Psychological Association. (2001). *Publication manual of the American Psychological Association (5th ed.)*. Author.

Charmaz, K. (1983). The grounded theory method: An explanation and interpretation. In R. M. Emerson (Ed.), *Contemporary field research: A collection of readings* (pp. 109-126). Little, Brown.

Collins, R. (1982)/井上俊・磯部卓三訳 (1992). *脱常識の社会学*. 岩波書店.

Corsini, R. J., & Cardone, S. (1966). *Role playing in psychotherapy*. Aldine.

石川元・大原健志郎(1984). 家族療法と非言語. *家族療法研究*, 1(1), 28-37.

石川准 (2005/1/20). ケアとアシスト. <http://fuji.u-shizuoka-ken.ac.jp/~ishikawa/care%20and%20assist.pdf> [2005/5/18 閲覧]

Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. In T. Moore, & E. Simendinger (Eds.). *Managing the nursing shortage : A guide to recruitment and retention* (pp. 1-2). Aspen.

- 丸田すみ子 (1988). 中部山岳地帯における植生と環境変化に関する研究. *社会生物学研究*, 12(3), 45-56.
- 岡崎寿美子 (1990). 痛み表現用語に関する研究. *健康心理学研究*, 3(1), 1-17.
- 岡崎寿美子 (1992). *人は痛みをどのように表現するか*. 草原社.
- Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. *Journal of the American Geriatric Society*, 33, 833-841.
- 吉井恭子・大木陽子・木村洋二・高田隆一郎 (1983). 精神医療におけるインフォームド・コンセント. 田
中信子編, *人権の思想所収* (pp. 123-234). 現代出版.
- 吉田敬子 (1984a).
- 吉田敬子 (1984b).
- 吉行紀子・河野あゆみ・曾我智子・金谷志子・堀田邦子(2016). 要支援高齢者における介護保険サービスの利用パターンと虚弱性との関連性. *日本公衆衛生学雑誌*, 63(3), 135-142.
http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3_135.pdf